

## ■工学域 電気電子系学類 情報工学課程

### ○ディプロマ・ポリシー

情報工学課程は、本課程のカリキュラムに沿って、教育目標に掲げる以下の能力を身に付けたものに学士（工学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養を身に付けることにより、情報工学が、自然や環境、社会や文化とどのような関係をもっているかを、理解することができる。
2. 情報工学の専門知識と技術を体系的に学び、応用できる。
3. 日本語で、情報工学に関連する文章を、読み、書くことができ、科学的論理的な議論ができる。
4. 情報工学について、英語を用いて論理的な文章を書き、口頭発表し、討議することができる。
5. 情報工学に関する専門知識を利用することにより、社会の様々な問題を、工学的手法を用いて分析することができる。
6. インターネットなどを用いて、情報工学の専門に関する情報を収集し、分析し、判断することができる。
7. 情報工学に関する専門知識と技術を利用することにより、社会の様々な問題を解決するための創造能力をもつ。
8. 情報工学が社会に及ぼす影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を自覚し、高い倫理観をもつ。
9. 情報工学について、生涯に亘って、自主的、継続的に学習する能力を身に付けている。
10. 情報・知能科学の基礎知識とそれらを応用できる能力を身に付けている。
11. 情報・知能分野の専門知識を深く修得するとともに、それらを応用できる能力を身に付けている。
12. 社会的なニーズを分析して新たな問題を自ら見つけだし、モデル化・定式化するとともに、得られた結果をシステムやソフトウェアの要求仕様の形で表現し、解決するデザイン能力をもつ。
13. 与えられた条件下で計画的に仕事を進め、まとめる管理能力を身に付けている。